

令和4年度 小金井市立東中学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

○生徒が、一人一台ICTを活用	○基礎基本の徹底
○好奇心を掻き立て、やる気を起こさせる導入	○ねらいがしっかり、見通しがもてる授業

2 児童の現状分析

(1) 全国学力・学習状況調査・まなびぼけつと学力調査

国語	○根拠を示すために情報を引用して書く力が不十分。話し方を工夫する力に課題がある。
数学	○資料をまとめたり、分析する力、説明する力が不足している。

(2) 児童・保護者・教職員アンケート

○家庭学習をしたくなり、さらには生涯にわたって学びたいというキッカケをつくる。

3 各教科等における授業改善の視点

国語	○情報を比較整理して文章作成に活用する力をつける。 ○スピーチ、ディスカッション等を工夫して話す力をつける。
社会	○学習課題の理解促進及び興味・関心の喚起につながるような写真・資料を、ICT機器を活用して提示し、魅力ある導入をつくる。 ○1人1台端末の活用として、地図アプリケーションやインターネットニュースで調べ学習を行い、個人・グループでの課題解決につなげる。
数学	○データをヒストグラム、箱ひげ図等でまとめ、分析することを、ICT、デジタル教科書を活用して説明する力をつける。 ○思考力を高める問題を積極的に扱い、互いに論理的に説明する場面を増やしていく。
理科	○実験前の仮説・実験後考察を科学的根拠に基づいて考える習慣を身に付ける。 ○日常的に自分の知識や考えを他者に向けて言語化する活動を通じて、表現力を高める。
外国語	○ICT機器にて視覚教材を提示しながら教科書の題材や言語材料の導入を行い、興味関心を喚起する。 ○各単元にて言語活動を行い、習った表現と生徒自身のアイデアを結び付けることで学習内容の定着を図る。
音楽	○「個人の歌や演奏に関して教員が評価しアドバイスする」の流れを1人1台端末で行い、技能における基礎基本の徹底を図る。 ○表現活動だけでなく鑑賞の授業でも対話を取り入れ、自分の考えを相手に説明する場面を多く設ける。
美術	○一人一台端末を毎回の授業に持参し、必要に応じて活用する。 ○教科横断的な視点を取り入れるとともに、個別と集団の学習をバランスよく行う。
技術 家庭	○ICT機器を活用して最新の技術について提示し、興味関心を喚起する。 ○教科書のQRコードを読み込み、視覚教材で確認しながら正確な技能の定着を図る。
保健 体育	○ICT 端末：Chromebook やパワーポイントを使用して、技能のイメージ化を図るとともにポイントの明確なイラストを用意したりするなどして、指導する内容を焦点化する。 ○お互いにアドバイスし合い、対話を多く取り入れる。
道徳	○話し合い活動や他者の意見を聞く場面を多く設ける。 ○ICT機器を活用して自分の考えを表現しやすいような環境を整備する。
総合	○ICT機器を活用して見たり聞いたり体験したりしたことをまとめる力をつける。 ○自身の学びを他者に還元させることを意識させ、プレゼンテーション能力の育成に努める。